

CAR MATE

No.8209-70872A

オートアラームα

SQ8000A

取扱説明書

安全にお使いいただくために

付属品一覧

使いかた

設定のしかた

故障かな？と思ったら

製品仕様

もくじ

はじめに	3
注意事項の定義	3
SQ8000Aの特長	4
安全にお使いいただくために	5
警告事項	5
注意事項	5
参考事項	6
付属品一覧	7
使いかた	9
セキュリティをONにする	9
セキュリティをOFFにする	10
動作中のスモールランプやホーンを止める	10
セキュリティモードの切り替え	11
各センサーの機能	12
設定のしかた	15
初期設定	15
本体設定スイッチによる各種設定	17
その他の詳細設定	18
故障かな?と思ったら	19
ヒューズの交換	23

製品仕様	24
保証書	26

はじめに

このたびは、オートアラームα SQ8000Aをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ます。

この取扱説明書は、オートアラームα SQ8000A(以下本製品という) をご使用頂くためのガイドブックです。

この製品は、一定の安全条件を満たしている場合に、車両のホーンとスモールランプを利用して車両盗難や車上荒らしから愛車を守るためのカーセキュリティシステムです。

この製品を正しく安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用ください。この取扱説明書はお読みになった後も、車検証入れなどすぐに取出せる場所に保管し、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、お役立てください。

また、本製品を譲られる場合は、次に使用される方に本書も併せてお渡しください。尚、誤った取り付け、使用による事故、破損などの責任は一切負いかねます。本製品使用中に、万一取り付け車に盗難等の被害が発生しても、当社補償は一切ありません。

注意事項の定義

この取扱説明書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。各々の定義(意味)を十分に理解された上で、お取扱いください。



警告

人体に対し、危険が生じる恐れのあるもの



注意

物品を破損、故障させる恐れのあるもの



参考

取り付け、取扱において知っているると有益な情報

重要

取り付け、取扱において特に気をつける必要のあるもの

SQ8000Aの特長

■本製品はキーレスエントリー(純正キーレスリモコン)による車のロック時にセキュリティを作動させる防犯システムです。

■センサーが異常を感知した場合に、車両のスモールランプとホーンを点滅/鳴動させることで警報を発します。

■ドア・イグニッションON・傾斜・微衝撃・高衝撃の5つのセンサーを標準装備しています。

■スマートキー・キーフリー・インテリジェントキーにも対応しています。

■本体(メインユニット)から独立したモードスイッチで、セキュリティモードの切り替えが簡単に行えます。

■本体の設定スイッチを切り替えることで、使用環境にあわせたカスタマイズが可能。防犯性と近所迷惑防止がバランス良く設定できます。

■装着不可車種

下記の条件にひとつでも当てはまる車両には装着できません。

- ・純正セキュリティアラーム(イモビライザー除く)装着車
- ・後付けのセキュリティシステム装着車

キーレスエントリーでドアを「ロックした時」と「アンロックした時」のハザードランプの点滅回数が同じ車両

■別売のオプションで、さらに防犯性をアップできます。

・SQ211 ボンネットセンサー
ボンネットの不正開放を感知

・SQ167 バックアップサイレン
バッテリー内蔵のサイレン

・SQ168 スーパーボイスサイレン2
英語男性・日本語男性・日本語女性・サイレンの4種類の音声を選択可能なボイスサイレン

・SQ160 フラッシャー(各種)
~165 セキュリティON時に光で威嚇

・キーレスエントリーでドアを「ロック/アンロックした時」にハザードランプが点滅しない車両

・ドアの鍵穴にカギを挿してアンロックした時にハザードランプが点滅する車両

・保安基準に対応していないホーンを取り付けている車両

・ターボタイマー装着車

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、お客様や周りの方、物への被害を防ぐため、必ずお読みください。

警告事項

⚠️ 警告

運転中に本製品の操作をしないでください。事故の原因になります。

⚠️ 警告

サイレンやホーンを作動させる場合は、離れて作動させてください。聴覚障害の原因になります。

注意事項

⚠️ 注意

ターボタイマーや盗難警報機類との併用や取り付けはしないでください。誤作動の原因になります。

⚠️ 注意

製品が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよく絞ってから拭き、乾いた布でもう一度拭いてください。ベンジン、シンナー等の化学薬品は、絶対に使用しないでください。変形・変色や故障の原因になります。



⚠️ 注意

12V車専用です。トラックなどの24V車には、お取り付けできません。



⚠️ 注意

純正セキュリティアラーム装着車には、取り付けできません。



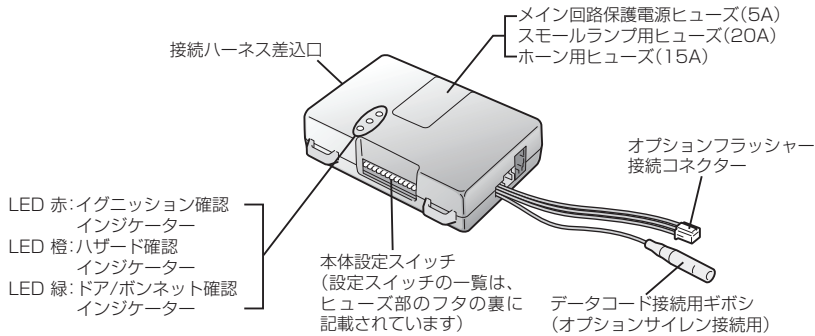
参考事項

参考

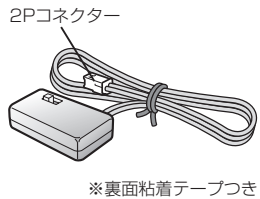
本製品の2段階ショックセンサーは車両への衝撃を感知しますが、車両の違いや取り付け状態の違いによって、感知する衝撃の強さが異なります。取り付け後に必ず感度調整を行ってください。

付属品一覧

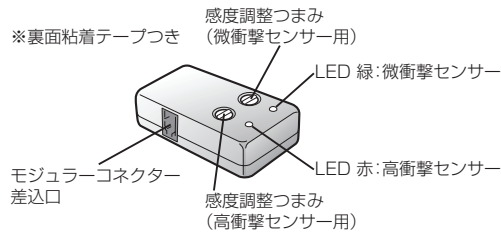
●本体(メインユニット) 1個



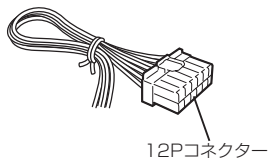
●モードスイッチ 1個



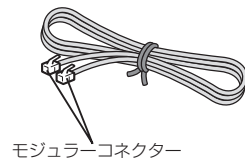
●センサーユニット 1個



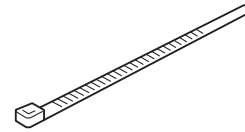
●接続ハーネス 1本



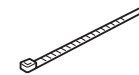
●モジュラーコード(センサーユニット接続用) 1本



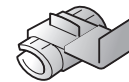
●結束バンド大 1本



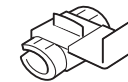
●結束バンド小 5本



●ワンタッチコネクター(赤) 8個



●ワンタッチコネクター(青) 2個



●防犯ステッカー 1枚



使いかた

重要 本製品を車両に取り付けたら、初めにハザードランプの学習設定(初期設定)をする必要があります。詳細は15ページ「設定のしかた」やSQ8000A取付マニュアル(別紙)を参照してください。

セキュリティをONにする

注意 本製品でのセキュリティは、「車両のエンジンが停止してイグニッションキーがOFF」になっている場合にのみ機能します。

注意 消し忘れなどによってハザードランプを点滅させたままイグニッションキーをOFFにした場合は、セキュリティをONにすることができません。

1 キーレスエントリーでドアをロックします。

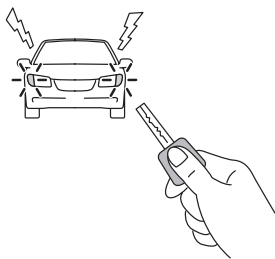
ハザードランプが点滅してホーンが1回鳴り、セキュリティがONになります。

参考 ハザードランプの点滅回数は車種によって異なります。

参考 操作時にホーンが鳴らないようにすることもできます。17ページ「本体設定スイッチによる各種設定」を参照してください。

参考 キーレスエントリーを連続して操作すると、正しくON/OFFが切り替えられません。

参考 近隣への迷惑防止のため、ドア・イグニッションON・傾斜・ボンネット(オプション)の各センサーは、1回のセキュリティONにつき合計8回以上の警報を行いません。



セキュリティをOFFにする

1 キーレスエントリーでドアをアンロックします。

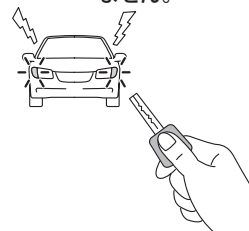
ハザードランプが点滅してホーンが2回鳴り、セキュリティがOFFになります。

参考 ハザードランプの点滅回数は車種によって異なります。

参考 セキュリティがONの間にセンサーが反応していた場合は、ホーンが4回鳴ります。(警報メモリー機能)

参考 操作時にホーンが鳴らないようにすることもできます。17ページ「本体設定スイッチによる各種設定」を参照してください。

参考 キーレスエントリーを連続して操作すると、正しくON/OFFが切り替えられません。



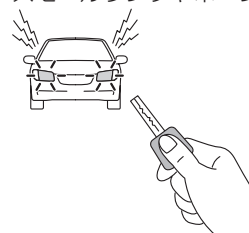
動作中のスモールランプやホーンを止める

センサーが異常を感知してスモールランプやホーンが点滅/鳴動しているときは、次のようにして停止させます。

参考 キーレスエントリーを連続して操作すると、正しくON/OFFが切り替えられません。

1 キーレスエントリーでドアをロックまたはアンロックします。

スモールランプやホーンが停止します。

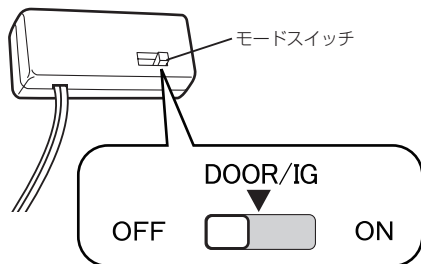


参考 ドアをロックした場合は、スモールランプやホーンが停止したあと、セキュリティはONのままになっています。アンロックした場合は、セキュリティがOFFになります。

セキュリティモードの切り替え

本製品にはオプションを含め6つのセンサー(ドアセンサー・イグニッションONセンサー・傾斜センサー・微衝撃センサー・高衝撃センサー・ボンネットセンサー(オプション))があります。モードスイッチでセキュリティモードを切り替えることで、作動させるセンサーが選択できます。

参考 セキュリティがONのときは、セキュリティモードの切り替えはできません。



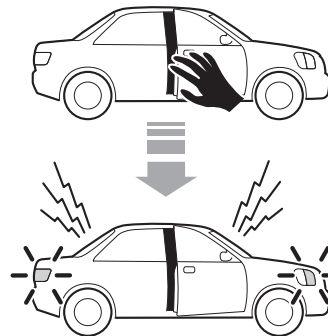
セキュリティモード	用途	作動するセンサー	切り替え時の確認音
ON (通常モード)	すべてのセンサーが有効になります。	ドアセンサー イグニッションONセンサー 傾斜センサー 微衝撃センサー 高衝撃センサー ボンネットセンサー(オプション)	「ピッ」
DOOR/IG (立体駐車場モード)	立体駐車場など、車両が傾斜したり振動したりする場所への駐車時に使用してください。	ドアセンサー イグニッションONセンサー ボンネットセンサー(オプション)	「ピッ」
OFF (整備モード)	車両整備時などセキュリティを使いたくないときに使用してください。	なし	「ピー」

参考 イグニッションONセンサーは出荷時「使わない」に設定されています。

各センサーの機能

■ ドアセンサー

ドアの不正な開放を感知したときに警報を発します。

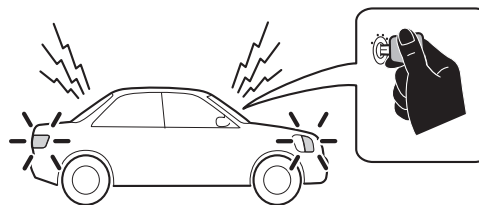


不正なドアの開放を感知すると最初にスモールランプが点滅し、約3秒後にホーンが鳴動します。警報は約30秒間継続します。

■ イグニッションONセンサー

合鍵や不正な手段でイグニッションがONになったことを感知したときに警報を発します。

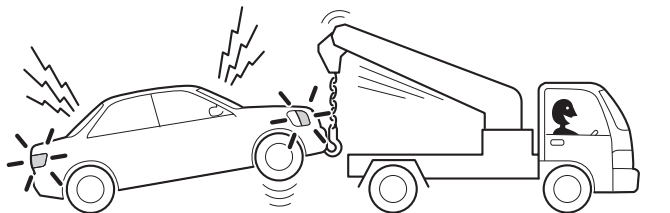
参考 出荷時は、イグニッションONセンサーは「使わない(OFF側)」に設定されています。(17ページ参照)



不正なイグニッションへのアクセスを感知すると、スモールランプとホーンが点滅/鳴動します。警報は約30秒間継続します。

■ 傾斜センサー

車がジャッキアップされたり、傾きを感知したときに警報を発します。



車両の傾きを感知すると、スモールランプとホーンが点滅/鳴動します。
警報は約30秒間継続します。

■ ショックセンサー

車が衝撃を受けたことを感知したときに警報を発します。

参考 ショックセンサーには微衝撃センサーと高衝撃センサーがあり、センサーユニットで感度を調整できます。詳しくは18ページを参照してください。



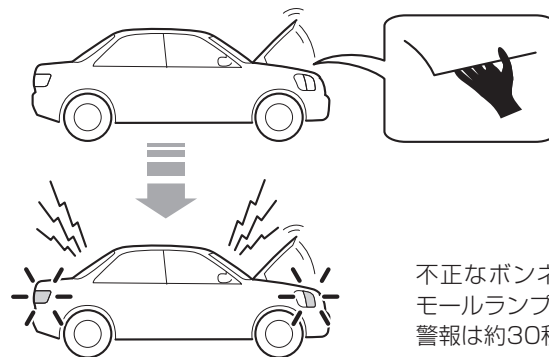
車両への衝撃を感知すると、スモールランプとホーンが点滅/鳴動します。

参考 微衝撃センサーの反応時はホーンを4回、高衝撃センサーの反応時はホーンを10回鳴らします。

参考 微衝撃センサーが連続して反応し続けた場合、異常と判断して一時的に微衝撃センサーが働かなくなります(誤作動キャンセル機能)。一定時間経過すると、微衝撃センサーは再び機能します。

■ ボンネットセンサー(オプション)

別売のボンネットセンサー(SQ211)を車両に取り付けているときは、ボンネットの不正な開放を感知したときに警報を発します。



不正なボンネットの開放を感知すると、スモールランプとホーンが点滅/鳴動します。
警報は約30秒間継続します。

設定のしかた

初期設定

△注意 本製品を使用する前に、ハザードランプの点滅とセキュリティを連動させるための初期設定が必要です。

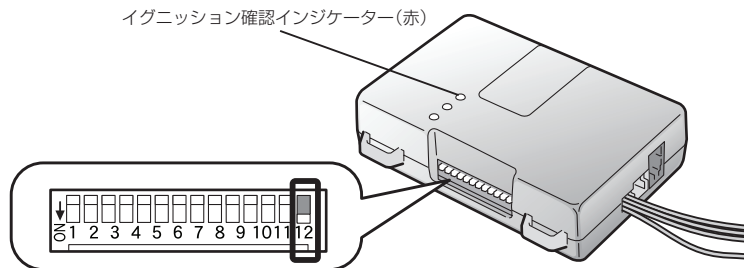
本製品は、キーレスエントリーでドアをロック/アンロックしたときのハザードランプの点滅回数を学習することで、車両のロック状態と本製品によるセキュリティを連動させます。

次の手順でハザードランプの点滅回数を本製品に学習させてください。

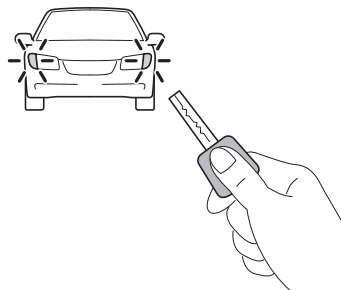
1 車両をアンロックの状態にします。

2 本体設定スイッチ12番をON(下側)にします。

☎参考 設定中は、本体のイグニッション確認インジケータ(赤)がゆっくり点滅します。

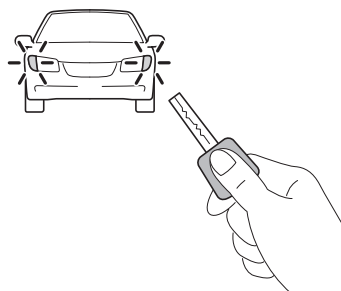


3 キーレスエントリーでドアをロックします。



学習が完了すると本体のブザーが「ピー」と鳴ります。

4 ブザーが鳴ったあと2秒以上待つてから、キーレスエントリーでドアをアンロックします。



学習が完了すると、本体のブザーが「ピーピー」と鳴ります。
イグニッション確認インジケータ(赤)が3回点滅したあと点灯に変わります。

☎参考 キーレスエントリーを連続で操作すると、ハザードランプの点滅が認識されず、正しく設定できないことがあります。

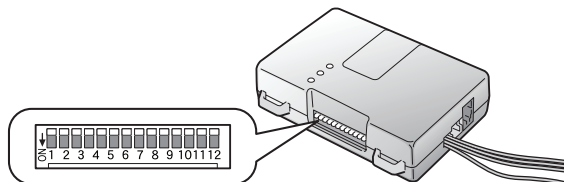
5 本体設定スイッチ12番をOFF(上側)にします。

これで設定は完了です。
正しく設定できなかった場合は、再度設定を行ってください。

△注意 ドアはアンロック状態です。車両から離れるときはロックしてください。

本体設定スイッチによる各種設定

本体設定スイッチでセンサーの連動、各種設定ができます。



スイッチ番号	設定項目	OFF(上)	ON(下)
1	イグニッションONセンサー(※1)	使わない	使う
2	操作時のホーン	鳴らす	鳴らさない
3	衝撃時のホーン	鳴らす	鳴らさない
4	微衝撃センサー	使う	使わない
5	高衝撃センサー(※2)	使う	使わない
6	鳴動パルス(操作、衝撃時の音の長さ)	0.07秒	0.15秒
7	ディレイタイム	5秒	5分
8	使用しません	-	-
9	スモールランプ出力設定	+12V	0V
10	ホーン出力設定	+12V	0V
11	ハザードランプ入力設定	+12V	0V
12	ハザードランプ学習設定	通常動作	学習動作

太字は出荷時設定です。

※1 エンジンスターターを併用する場合は、イグニッションONセンサーを「使わない」に設定してください。ただし、イグニッションONセンサーを「使わない」に設定している場合、セキュリティがONのときにイグニッションをONにすると、セキュリティがOFFになります。

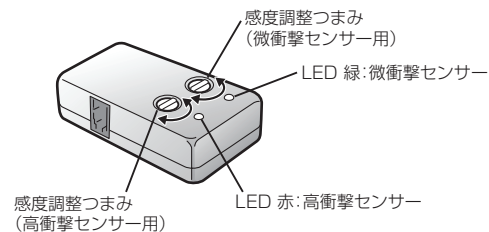
※2 高衝撃センサーを「使わない」に設定すると、微衝撃センサーも動かなくなります。

参考 「ディレイタイム」は、セキュリティをONにしてから各センサーが動作するまでの時間を設定するものです。例えば停車後しばらくしてからスタビライザーやファンが自動的に作動する車両など、ショックセンサーが誤作動してしまう恐れがあるときに使用します。

通常: 5秒/ディレイタイム ON時: 5分

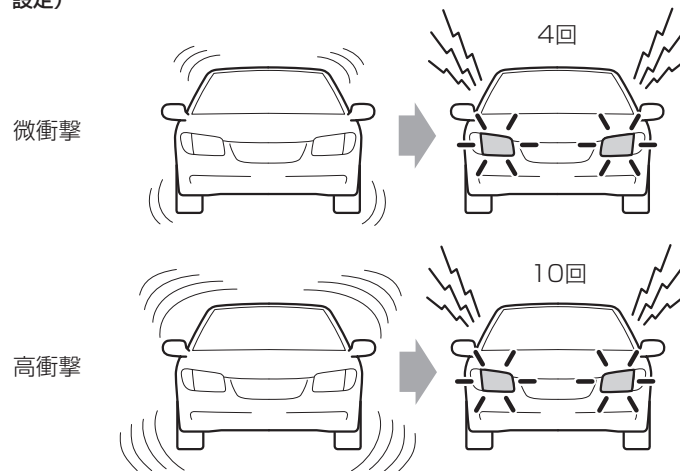
その他の詳細設定

ショックセンサーの感度を調整します。



参考 ショックセンサーには微衝撃センサーと高衝撃センサーがあり、車両への衝撃の強さに応じてどちらか一方が反応します(センサーが反応するとショックセンサーのLEDが光ります)。また、各センサーが反応する衝撃の強さを感度調整つまみで設定できます。

(例: 微衝撃センサーを隣の車のドアが当たったことを感知するレベルに設定、高衝撃センサーをフロントガラスが割れるほどの衝撃を感知するレベルに設定)



参考 仕様により、調整つまみをMIN.に合わせても、ショックセンサーの感度は「0」にはなりません。ショックセンサーを動作させたくない場合は、セキュリティモードを「OFF」もしくは「DOOR/IG」(立体駐車場モード)にするか、本体設定スイッチ5番をON側(使わない)にします。

故障かな？と思ったら

症状	解説
セキュリティのON/OFFができません。	初期設定は行いましたか？キーレスエントリーによるドアロック/アンロック時のハザードランプの点滅回数を学習させる初期設定を行っていない場合は、本体から「ピピッ ピピッ…」というブザー音が鳴り続けます。(15ページ参照)
	ドアの鍵穴にカギを挿してドアを開閉していませんか？キーレスエントリーでドアをロック/アンロックしないとON/OFFの信号が認識されません。
	セキュリティモードが「OFF」に設定されていませんか？モードを「ON」または「DOOR/IG」に設定してください。(11ページ参照)
	セキュリティのON/OFFは、車の「エンジンが停止してイグニッションキーがOFFの状態」の場合にだけ切り替えられます。車の状態を確認してください。
	ハザードランプ入力コードの配線と、本体設定スイッチ1番の設定は正しいですか？
	キーレスエントリーを連続操作していませんか？セキュリティをON/OFFする（ハザードランプの点滅を認識させる）には、2秒以上間隔をおいて操作してください。
	メイン回路保護電源ヒューズ（5A）が切れていませんか？切れているときは新しいヒューズと交換してください。(23ページ参照)
ドアがロックされているのにセキュリティがOFFになっています。	初期設定が正しく行われていない可能性があります。再度設定を行ってください。(15ページ参照)
	アンロック後にドアを開閉しなかった場合、自動再ロック機能によりドアがロックされる車種がありますが、再ロック時にハザードランプが点滅しない車種ではセキュリティが解除されたままになります。

症状	解説
セキュリティのモード設定ができません。また、モードを切り替えても本体ユニットから音が鳴りません。	スイッチ配線が断線したり、本体コネクタの接続部分が抜けていませんか？SQ8000A取付マニュアルを参照して確認してください。
	セキュリティがONになっていませんか？セキュリティをOFFにしてからモード設定を行ってください。
警報を停止できません。	純正セキュリティアラーム装着車ではありませんか？本製品は純正セキュリティアラーム装着車には取り付けできません。
勝手に警報が鳴ります。	余っているドア開放検出入力コードやボンネットセンサーコードがボディアースに触れている可能性があります。配線を確認してコード先端を絶縁してください。
セキュリティのON/OFF時に車のホーンが鳴りません。	本体設定スイッチでホーンを連動させる設定にしていますか？または鳴動時間の設定は正しく行われていませんか？(17ページ参照)
	ホーン用ヒューズ(15A)が切れていませんか？切れているときは新しいヒューズと交換してください。(23ページ参照)
	ワンタッチコネクタは正しく接続されていますか？SQ8000A取付マニュアルを参照して確認してください。
ドアを不正開放してもすぐにホーンが鳴りません。	ドアを開けると、まずスモールランプが点滅して警告します。そのまま数秒経過するとホーンが鳴ります。
ドアやボンネットを開放しても警報が鳴りません。	取付マニュアル「配線のしかた」の 3 4 6 を参照して配線状態を確認してください。
イグニッションONセンサーが作動しません。	セキュリティモードが「OFF」に設定されていませんか？モードを「ON」または「DOOR/IG」に設定してください。(11ページ参照)
	取付マニュアル「配線のしかた」の 3 4 6 を参照して配線状態を確認してください。
	本体設定スイッチ1番は正しく設定されていますか？(17ページ参照)

症状	解説
ショックセンサーが反応しません。	感度調整は正しく行われていますか？センサーユニットのLEDランプで確認してください。(18ページ参照)
	適切な場所にセンサーが設置されていますか？ショックセンサーを粘着テープでしっかりと固定してください。
	セキュリティをONにした後、5秒(本体設定スイッチ7番がONの場合は5分)以上経過しないとセンサーは反応しません。(17ページ参照)
	本体設定スイッチ3~5番は正しく設定されていますか？(17ページ参照)
	セキュリティモードが「ON」に設定されていますか？(11ページ参照)
ショックセンサーのボリュームをMIN.まで回してもショックセンサーが反応してしまいます。	仕様により、ボリュームをMIN.まで回しても感度は「0」になりません。ショックセンサーをOFFにするには、セキュリティモードを「OFF」または「DOOR/IG」に設定するか、本体設定スイッチ5番をON側(使わない)にしてください。(11、18ページ参照)
ショックセンサーの反応時に、ホーンが鳴りません。(スモールランプは光ります。)	本体設定スイッチでホーンとスモールランプの連動設定が正しく行われていますか？(17ページ参照)
センサー反応時にスモールランプが光りません。	配線は正しく行われていますか？SQ8000A取付マニュアルを参照して確認してください。
	スモールランプ用ヒューズ(20A)が切れていませんか？切れているときは新しいヒューズと交換してください。(23ページ参照)

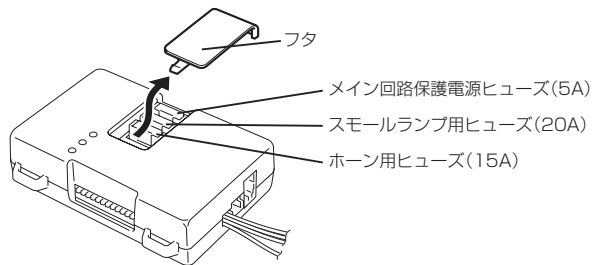
症状	解説
セキュリティのON/OFF時やセンサー反応時に、ホーンが鳴りません。	配線は正しく行われていますか？SQ8000A取付マニュアルを参照して確認してください。
	本体設定スイッチは正しく設定されていますか？(17ページ参照)
	ホーン用ヒューズ(15A)が切れていませんか？切れているときは新しいヒューズと交換してください。(23ページ参照)
駐車場やガソリンスタンドなど、車両停止時に勝手にセキュリティがON/OFFになります。	車両停止中(イグニッションキーがアクセサリまたはOFF)に一瞬ハザードスイッチを操作していませんか？
スモールランプ点滅時、フォグランプも点滅します。	フォグランプスイッチがONになっていると、車種によってはスモールランプがフォグランプに連動します。頻繁に点滅させるとバッテリーあがりの原因になりますので、フォグランプのスイッチはOFFにして使用してください。
ハザードランプの学習設定ができません。	キーレスエントリーでロック/アンロックしたときのハザードランプの点滅回数が同じ車種の場合、取り付けできません。
	ハザードランプの点滅時に点灯している時間が短い車種の場合、学習設定ができません。
	SQ8000A取付マニュアルを参照して、配線を確認してください。
全く動作しません。	セキュリティモードが「OFF」に設定されていませんか？モードを「ON」または「DOOR/IG」に設定してください。(11ページ参照)
	配線は正しく行われていますか？SQ8000A取付マニュアルを参照して確認してください。
	メイン回路保護電源ヒューズ(5A)が切れていませんか？切れているときは新しいヒューズと交換してください。(23ページ参照)

ヒューズの交換

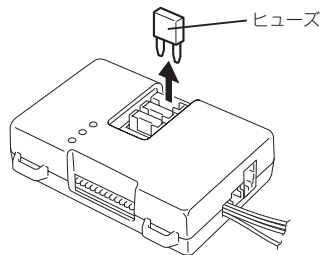
セキュリティのON/OFFができない、動作しないなどの症状が解決できない場合は、本体に内蔵されているヒューズが切れている可能性があります。

△**注意** ヒューズを交換する前に、配線を確認してヒューズが切れた原因を解消してください。

1 本体(メインユニット)の中央にあるフタをスライドさせて外します。



2 切れているヒューズを引き抜きます。



3 切れたヒューズと同じアンペア数の新しいミニ平型ヒューズを差し込み、フタを元通り閉めます。

これでヒューズの交換は完了です。

製品仕様

■ 本体(メインユニット)

外形寸法	65×96×28(mm)(突起部除く)
重量	約172g
電源電圧	DC12V
消費電流(待機時)	4.4mA(センサーユニット部含む)
作動温度範囲	-20℃~+85℃

■ センサーユニット

外形寸法	35×60×23.5(mm)
重量	約44g
モジュラーコード長	約2.0m
作動温度範囲	-20℃~+85℃

■ モードスイッチ

外形寸法	18×40.5×9(mm)(突起部除く)
重量	約33g
コード長	約1.5m
作動温度範囲	-20℃~+85℃